

2-2-VII.

景観づくりの考え方

- 「景観づくりの考え方」では、空間テーマごとの景観づくりのポイントと参考事例を整理
- 各空間テーマの詳細な景観づくりの考え方について次ページ以降で整理



景観づくり
のポイント

- 1 鈴鹿山脈への眺望を活かす

 - 樹木以外は極力目線以上の高さの地物は設けない
 - 市民公園南東角部分、中央通りの北側歩道部は西側への視線の抜けを重視する
- 2 多様な緑の見え方を演出する

動線計画と連動した緑の配置・起伏等の形状
- 3 山並みと呼応する曲線を取り入れた緑地および舗装の切り替えライン
- 4 石材および木材など自然素材を活かした地物のデザイン
- 1 四日市市の新たなシンボルとなる円形デッキ

 - “ニワミチよっかいち”のエントランスにふさわしい四日市市のシンボルとなる円形デッキのデザインとする
 - デッキ上に市民の憩いの場所となる“まちを眺める上空のニワ”を整備
 - 産業や伝統を活かした“四日市らしいデザイン”とする
- 2 円形デッキ以外は極力軽く、周辺環境に溶け込んでいくデザインとする
- 3 限られたスペースにおいて可能な限り多様な緑の設えを取り入れる
- 4 都市的なイメージを演出する洗練された形態の地物、照明計画
- 1 回遊を促す変化に富んだシークエンスを演出
- 2 市役所前は三滝通り東側よりもフォーマルな空間とし、三滝通り東側は、市民が親しみやすい形態・色彩・素材とする
- 3 大きい空間を活かしたおおらかなランドスケープ

 - 空間を細分化しすぎず、大きな空間を活かしたおおらかな舗装の切り替えや地物の配置とする
- 1 中央通りとの緑の連続性を感じるランドスケープ
- 2 みなとへの接続性を高めた空間
- 3 市民が多目的に活用できる空間

参考事例



鈴鹿山脈への眺望



シンボルとなる円形デッキの事例
(新横浜, 日本)



多様な植栽の事例
(New York, USA)



おおらかなランドスケープの事例
(左: Basel, Switzerland、右: 大阪市, 日本)



みなとへの接続性を高めた空間の事例
(延岡市, 日本)



延岡駅前複合施設
HANOKHP-3
<https://encross-nobeoka.jp/>

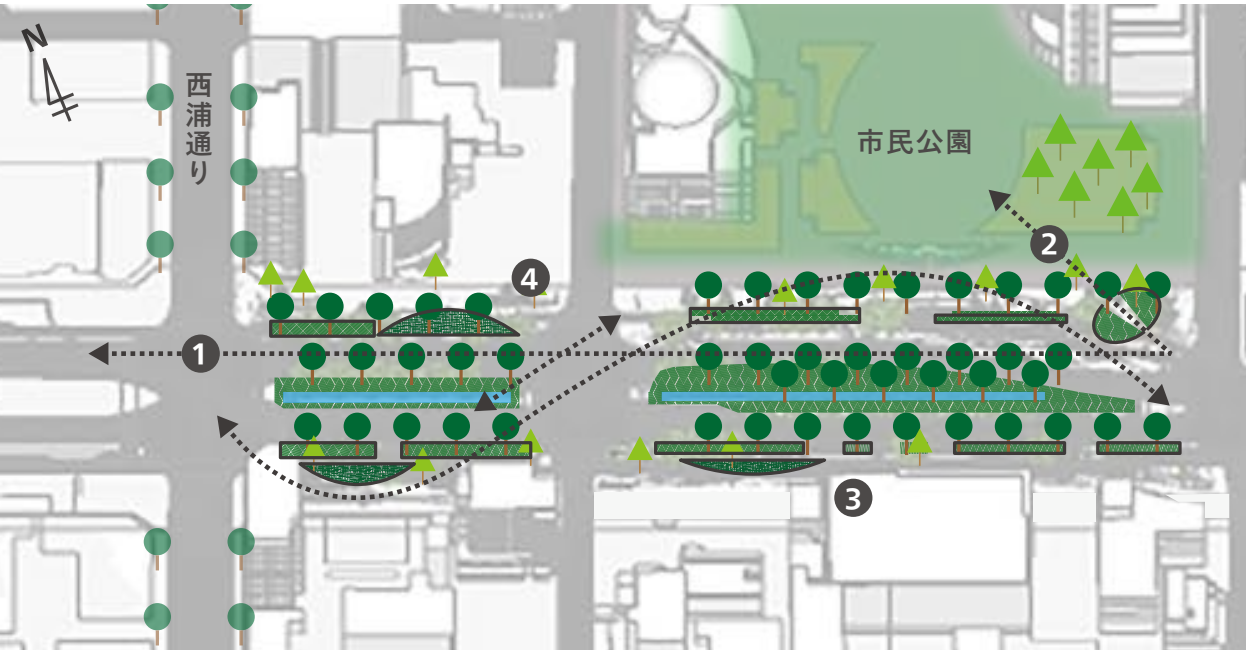
※樹木の本数は正確ではなく、配置イメージを模式的に表現している

※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性あり

近鉄四日市駅西側
(西浦通り～市民公園)



四日市の豊かな自然と出会う憩いの空間



※樹木の本数は正確ではなく、配置イメージを模式的に表現している ※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性あり

① 豊かな自然の演出

—— 鈴鹿山脈への眺望を活かす

- ・ 樹木以外極力目線以上の高さの地物は設けない
- ・ 市民公園南東角部分、中央通りの北側歩道部は西側への視線の抜けを重視する

② 豊かな自然の演出

—— 市民公園へのつながりを強調

- ・ 市民公園へのつながりを意識した動線計画・緑の配置とする
- ・ 市民公園の前庭として、一体的な利用が可能な空間構成とする



鈴鹿山脈への眺望を活かした空間のイメージ

③ 豊かな自然の演出

—— 多様な緑の見え方を演出する

動線計画と連動した緑の配置・起伏等の形状

- ・ 単一植栽の地被ではなく、多年草や宿根草等の多様な種類の植物で構成される植栽帯を設ける
- ・ 季節によって移り替わる植栽を取り入れ、季節ごとに変化を感じることができる植栽計画とする
- ・ 通行空間および休息空間からの見え方に配慮した緑の配置とすることで、自然な視線誘導と多様な体験を可能とする設えとする
- ・ 可能な限りレインガーデン（雨庭）を設え、グリーンインフラ機能を充実させる



多様な緑や起伏の配置のイメージ

④ 豊かな自然の演出

—— 山並みと呼応する曲線を取り入れた緑地および舗装の切り替えライン

- ・ 山並みを連想させる緩やかな起伏や緩やかな曲線を取り入れた舗装切り替えラインを取り入れる
- ・ 南北に分かれた歩道空間に連続した曲線ラインを取り入れることで、南北の空間的つながりを強調する

⑤ 憩いの空間の演出

—— 石材および木材など

自然素材を活かした地物のデザイン

- ・ 休息空間等ひとが滞留する空間については、石材や木材等の自然素材を用い、親しみを感じる設えとする

⑥ 憩いの空間の演出

—— 緑陰や阿瀬知川などの自然を活かした休息空間

- ・ 高木植栽による緑陰など、自然を感じることができる空間にベンチ等を備えた休息空間を設ける



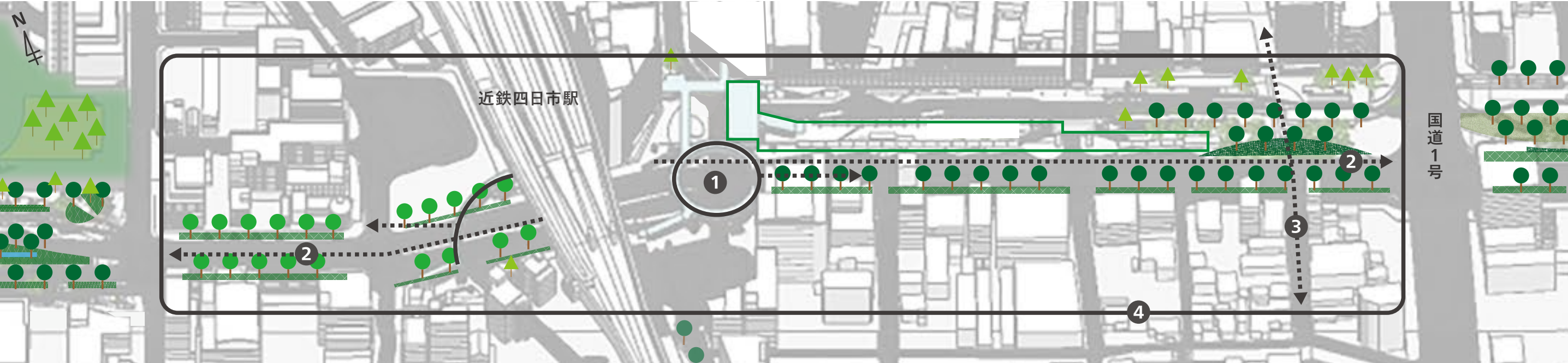
緑陰に配置された自然素材を用いたベンチのイメージ

近鉄四日市駅周辺

(近鉄四日市駅西側～国道1号)



新しい技術に出会う緑豊かな四日市の顔となるターミナル空間

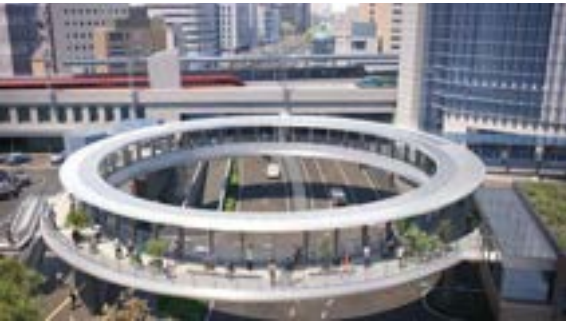


※樹木の本数は正確ではなく、配置イメージを模式的に表現している ※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性あり

① 四日市市の顔づくり

— 近鉄四日市駅東側円形デッキを
象徴的なデザインとする

- デッキ上に視点場を設け、四日市のまちを俯瞰できるポイントをつくる
- 人と自然を結ぶ“2つの円の重なり”の形態とすることで、屋根に覆われた歩行スペースと緑化されたオープンスペースを共存させ、「自然と調和したまちづくり」を象徴するデザインを目指す
- 四日市の先端技術産業のイメージを都市的でシンプルに洗練されたデザインとして反映し、「日永うちわ」の立体的な分岐構造をモチーフとした柱など、産業や伝統を活かした“四日市らしいデザイン”とする



シンボルとなる円形デッキのイメージ

② 四日市市の顔づくり

— 緑豊かな都市軸の演出

- 列植による、緑豊かな都市軸を演出する
- 機能配置上、列植が不可能な箇所については、地被・低木や壁面緑化、屋上緑化等の多様な緑の設えを取り入れ、緑の連続性を確保することで、アイレベルで緑を多く感じる設えとする



限られたスペースで緑化されたバスターミナルのイメージ

③ 四日市市の顔づくり

— 東海道の歴史を感じる広場・歩道部のデザイン

- 東海道の南北のつながりを可視化する舗装の切り替えなど、東海道の歴史を感じる設えとする
- 歴史的な設えとして、四日市の新たな顔にふさわしいシンプルで洗練されたデザインとする



空間のつながりを可視化する舗装の切り替えのイメージ

④ 都市的なイメージの演出

— 質の高い地物・上屋・ファニチャーのデザイン

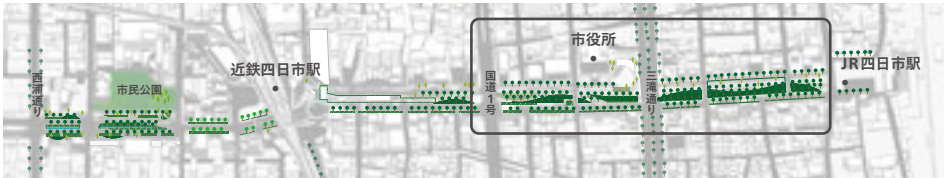
- 照明やボラード、地下駐車場地上施設などの構造物、ベンチなどのファニチャーは、アイレベルでの景観を阻害しない洗練された形態とし、都市的なイメージを感じる素材を使用する
- 滞留空間については、座面に木材を使用しつつも都市的なイメージを演出するシンプルかつ洗練された形態とする



都市的なイメージのストリートファニチャーのイメージ

四日市市役所周辺

(国道1号～三滝通り～JR四日市駅)



四日市の人や文化、歴史に出会う交流空間



※樹木の本数は正確ではなく、配置イメージを模式的に表現している ※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性あり

- ① 交流空間の創出

— 国道1号～三滝通りは、シンプルな空間構成で要素の種類を減らすことで、都市的でフォーマルな空間とする

 - 舗装や緑は、種類を絞る等シンプルな空間とする
 - ベンチ等の地物は、小さいものを多く設置するのではなく、統合できるものは統合し、大きなものは数を絞って配置する
- ② 交流空間の創出

— 三滝通り～JR四日市駅は、市民が親しみやすい形態・色彩・素材とする

 - 舗装や緑は、変化を演出するのに十分な種類を取り入れる
 - ベンチ等の地物については、箇所を限って彩度の高いアクセントカラーを取り入れる
 - 人が触れる箇所については手触り感を重視するなど、親しみやすい空間を目指す
- ③ 交流空間の演出

— 大きい空間を活かしたおおらかなランドスケープ

 - 人が集まり交流できる空間を確保するため、空間を細分化しすぎず、大きな空間を活かしたおおらかなランドスケープとする
- ④ 人や文化、歴史に出会う空間の演出

— 回遊を促す変化に富んだシーケンス（移動しながら連続的に眺める景観）

 - クスノキ並木を景観の軸としつつ、人が集まる広場、歴史モニュメントなどを空間の変化点として活かしながら、変化に富んだシーケンスとすることで、出会いを演出し、周辺への回遊を促す



要素を減らしたフォーマルな空間のイメージ

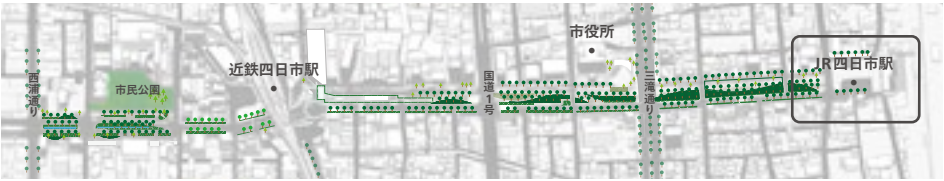


親しみやすいベンチのイメージ



おおらかなランドスケープのイメージ

JR 四日市駅周辺



みなとの雰囲気に出会うターミナル空間



※樹木の本数は正確ではなく、樹木配置のイメージを模式的に表現しています
※緑地の形状は、今後ランドスケープの検討により変更の可能性があります

- ① 港の雰囲気に出会う空間の演出
—— 中央通りとの緑の連続性を感じるランドスケープ
- 中央通りとの緑の連続性を感じるよう、列植をつなげたランドスケープとすることで、JR四日市駅前広場がまちとみなとのかけ橋として映える空間とする



列植をつなげたランドスケープのイメージ

- ② 港の雰囲気に出会う空間の演出
—— みなとへの接続性を高めた空間
- JR四日市駅西とみなとの分断を解消し、四日市港への動線を確保した空間とする
 - 四日市港への動線（自由通路）については、中央通りとの連続性に配慮した設えとする



滞留空間、緑化空間のある自由通路の事例（山口市, 日本）

- ③ 港の雰囲気に出会う空間の演出
—— 市民が多目的に活用できる空間
- 多目的な活用に対応した設えとすることで、市民の使いやすさの幅を広げる
 - 将来的な可変性を担保した設えとする
 - JR四日市駅周辺には、大学等の拠点施設の導入を別途検討する



市民が多目的に活用できる駅前空間の事例（延岡市, 日本）